



2026年5月25日

日本鉄道労働組合連合会

浜野よしふみ参議院議員

環境委員会で鉄道におけるGX・物流について質疑!



J R 連 合 「21 世 紀 の 鉄 道 を 考 え る 議 員 フ ォ ー ラ ム」 に 所 属 す る 浜野よしふみ参議院議員 は 5 月 12 日、参議院環境委員会の一般質疑において、鉄道分野におけるGX・物流について質疑を行った。

浜野議員は、鉄道がGX移行債の支援対象に含まれていないことについて、2024年3月の環境委員会で質問した際、「鉄道分野における投資戦略の策定、貨物鉄道へのモーダルシフトに関する取り組みにGX移行債を活用した支援の要否について今後検討する」と答弁があったことに対し、環境省の福本審議官にこの間の検討状況の説明および検討経過がわかる資料の提出を求め、継続して働きかける姿勢を示した。

続いて、モーダルシフトを進めるにあたっては、車両編成の長大化に対応するコンテナホーム拡幅や線路保守作業への影響を踏まえた双単線化などの投資が必要であることから、鉄道を分野別投資戦略の重点対象として位置づけ、事業全体を視野に入れてモーダルシフトを進めていくべきと指摘した。

さらに、貨物鉄道が利用する路線の維持、とりわけ北海道における赤字路線について、一事業者の経営問題としてではなく、国家的な物流基盤として明確に位置付け、財政措置も含めて政府が責任をもって維持強化に取り組むべきと主張した。

これに対し、国土交通省の田島審議官は、JR北海道の路線が貨物輸送ネットワークの一部を構成し、多様な役割を發揮していることを前提に置きつつ、「線区ごとの利用特性や各地域の事情を踏まえ、地方自治体を含む地域の関係者が一体となって地域における最適な交通の在り方について議論を深めていくことが重要。国土交通省として、引き続き議論の場に参画していく。」という旨を答弁した。

これが実効性ある政策となるよう、引き続き注視していく。